

洞爺湖温泉街が丸ごとコスプレ会場になる「TOYAK Oマンガ・アニメフェスタ2012」

同事業推進委員会主催の、6月23、24日の2日間洞爺湖文化センターを主会場に開かれ、昨年の参加者の4倍を超える3万人のアニメファンが集ま

り、温泉街が様々なコスプレであふれました。

初日の23日には、オープニングを飾るパレードが行われ、歩行者天国となった町道洞爺湖温泉大通り線で、痛車タクシーを先頭に、岡田屋さんから越後屋さんまでの500メートルを30分

ほどかけてコスプレイヤーが楽しそうに歩きました。

一昨年の3,000人、昨年の7,000人から今回の3万人と飛躍的に参加者が増えた理由の一つに、子どもから大人まで幅広い層が楽しめる企画にあります。

主なものだけでも、同人誌の販売やコスプレパフォーマンス、コスプレダンスパーティー、神谷明サイン会などのファン向けのほか、家族対象に行われたこびと図鑑の上映、一般の人も楽しめる声優によるジャズライブや景品が当たるキーワードラリーなど盛りだくさんのアトラクションが用意され、特設のメイド喫茶も行列ができるほどでした。

温泉の人たちは、まちのにぎわいに「若い人がたくさん来てくれて、活気がでていいね」と嬉しそうに話していました。

推進委員の一人は、当初目標の1万人を大幅に超える入り込みに「非常に驚いている。ホテルもほぼ満館。まちの一層の活性化にむけて、もっと大きなイベントに成長させたい」と来年への意気込みを語りました。



いろいろな
扮装を楽しむ
コスプレイヤー

多くのアニメファンであふれた洞爺湖文化センター前の駐車場